



2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月25日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 東
 コード番号 7590 URL <https://takasho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高岡 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理 (氏名) 井上 淳 (TEL) 073(482)4128
 本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年12月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績(2021年1月21日～2021年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	15,965	12.3	1,399	25.0	1,476	41.5	1,012	35.2
2021年1月期第3四半期	14,217	4.5	1,119	96.5	1,043	125.0	748	199.7

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 1,308百万円(64.5%) 2021年1月期第3四半期 795百万円(403.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年1月期第3四半期	円 銭 68.77	円 銭 68.62
2021年1月期第3四半期	51.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年1月期第3四半期	百万円 23,587	百万円 12,652	% 53.2
2021年1月期	19,691	9,516	47.9

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 12,547百万円 2021年1月期 9,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年1月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00
2022年1月期	—	0.00	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年1月21日～2022年1月20日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,350	10.1	1,506	30.2	1,452	26.0	1,100	15.4	75.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期3Q	17,201,814株	2021年1月期	14,679,814株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	101,578株	2021年1月期	101,485株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期3Q	14,716,852株	2021年1月期3Q	14,578,329株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定されており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界各国での新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により活動制限も緩和され、企業の設備投資や生産活動が進み、輸出では持ち直しの傾向がみられており、今後の回復が期待されますが、収束時期を見通すまでには至らず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くガーデン・エクステリア業界におきましては、新設住宅着工戸数は2021年3月度より増加傾向が継続しているものの、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような環境下において、新型コロナウイルスの影響から豊かな環境における暮らし方や健康・幸せなことへの気付きが起こり、住宅分野では少しでも良いものを、そして快適な暮らしへの「リフォームやリノベーション」が拡がりつつあります。

新しい生活様式が浸透している中、花や植物など自然を取り入れることでストレスのない庭での暮らしが求められており、DX（デジタルトランスフォーメーション）による提案と唯一全国にガーデン・エクステリアの専門ショールームを持つことで、当社がオンリーワンとNo.1のライフスタイル型の提供や顧客のニーズに合わせた生産方式、デザインやカラーを選べる仕組みなど、お客様のカスタマイズに対応する生産体制とソフトウェアの強化を図り、当社の指名買いが増加いたしました。

また、「メタ・バース」に基づいた自社の「メタバガーデンアプリ」やKDDIとのコラボレーションによるARを中心とした「スマートグラス」におけるデジタルショールームなどの強化を図るなか、2021年10月7日～8日に自社展示会「タカショーガーデン&エクステリアフェア2021」を開催し、リアルとネットのハイブリッド化、AR・MRなどのDXを使った提案等、営業活動の強化を図りました。

さらに、豊かで安らぎある庭での暮らしを提案し、ブランド向上を目的として10月20日からテレビコマーシャル（全国15県のエリア）とWebプラットフォームを連動させた新しいDX型販売促進により今後の販売強化を図ってまいります。当社が今まで行ってきたバリュー型経営にプラスし「ガーデンとエクステリアのグロス経営」に舵を切っており、工場への投資をしながら次への成長へ繋げてまいります。

国内の売上高につきまして、主力であるプロユース部門では家と庭をつなぐ中間領域である「5th Room」（五番目の部屋）のコンセプトに基づく基軸商品の「ホームヤードルーフ」とその周辺アイテムの売上拡大と新築外構工事におけるファサードエクステリアのデザイン性向上のための様々な顧客サポートを行ったことにより、売上高は前年同四半期と比べ8.5%増加いたしました。

ホームユース部門においては、ライフスタイルの変化に伴うガーデニング需要が高まっているものの、8月の異常気象による長雨の影響を受け、販売先である量販店・eコマースにおけるガーデニング用品の売上減少により前年同四半期と比べ0.6%減少いたしました。品質向上、主力顧客との売り場や商品の見直し、ARを使った「メタバホーム」なども取り込んだ売り場の改善を行ったことで当社のシェア率は高まってきております。

成長している海外の販売においては、QVCやコストコ、ホームデポを始めとする世界の有力店との取引も本格化されるなか、eコマースにおいてはアマゾンや自社サイトにおいてドロップシップ方式による販売活動の強化を図りました。海外においても健康的で持続可能なライフスタイルが望まれるなか、ガーデニングの需要が持続し、特にeコマースにおけるガーデニング用品の売上高が伸長したことで前年同四半期と比べ136.2%増加いたしました。

販売費及び一般管理費においては、DX化による販売促進活動の強化、ICT研究開発拠点（タカショーGLD-LAB. Soft-Factory鳥取）の開設や名古屋ハイブリッド型ショールームの新設を行ったことにより減価償却費と一時的な設備費用が発生したことや売上増加に伴う物流費が増加いたしました。

今後も更に業務効率の改善を進め、Web受注やRPA、またIoTやICTなどの最先端のIT化を急速に進めることで経費削減に努めてまいります。

営業利益においては、販売費及び一般管理費が前年同四半期を上回ったものの、売上高が増加し、原材料および海上運賃が高騰するなか自社生産品の販売構成比の増加やeコマース分野の売上構成比増加等により、粗利率が前年を上回ったことから、前年同四半期と比べ25.0%増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,965,282千円（前年同期比12.3%増）と増加し、営業利益は1,399,194千円（前年同期比25.0%増）となりました。経常利益は1,476,492千円（前年同期比41.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,012,118千円（前年同期比35.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,896,294千円増加し、23,587,685千円となりました。これは主に増資による現金及び預金と売上債権並びにたな卸資産の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ760,473千円増加し、10,935,068千円となりました。これは主に仕入債務の増加と借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3,135,821千円増加し、12,652,617千円となりました。これは主に増資による資本金及び資本剰余金と利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2021年8月23日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,942,313	5,765,199
受取手形及び売掛金	2,640,052	3,632,837
電子記録債権	572,227	573,348
商品及び製品	2,826,455	3,401,530
仕掛品	358,300	509,563
原材料及び貯蔵品	1,169,705	1,322,568
その他	798,766	853,996
貸倒引当金	△120,296	△128,090
流動資産合計	12,187,525	15,930,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,459,106	3,647,661
土地	1,008,968	1,043,608
建設仮勘定	146,948	35,130
その他（純額）	941,303	885,790
有形固定資産合計	5,556,327	5,612,190
無形固定資産		
のれん	13,363	26,337
その他	401,037	467,596
無形固定資産合計	414,401	493,934
投資その他の資産		
投資有価証券	260,149	243,564
繰延税金資産	226,180	116,111
その他	1,067,347	1,211,108
貸倒引当金	△20,540	△20,176
投資その他の資産合計	1,533,137	1,550,608
固定資産合計	7,503,866	7,656,732
資産合計	19,691,391	23,587,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,001,688	4,555,785
短期借入金	3,943,756	3,992,900
1年内返済予定の長期借入金	356,130	48,836
未払法人税等	114,397	298,972
賞与引当金	70,461	132,172
その他	1,337,552	1,251,288
流動負債合計	8,823,985	10,279,955
固定負債		
長期借入金	771,899	127,999
退職給付に係る負債	7,440	8,612
資産除去債務	211,219	222,287
その他	360,050	296,212
固定負債合計	1,350,609	655,113
負債合計	10,174,595	10,935,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,860	2,880,479
資本剰余金	1,862,014	2,921,633
利益剰余金	5,427,501	6,148,053
自己株式	△26,529	△26,603
株主資本合計	9,083,847	11,923,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,236	114,246
繰延ヘッジ損益	△7,936	16,959
為替換算調整勘定	142,835	350,825
退職給付に係る調整累計額	79,549	142,322
その他の包括利益累計額合計	339,686	624,353
新株予約権	2,341	3,117
非支配株主持分	90,921	101,584
純資産合計	9,516,795	12,652,617
負債純資産合計	19,691,391	23,587,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月21日 至2020年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月21日 至2021年10月20日)
売上高	14,217,103	15,965,282
売上原価	7,823,064	8,732,663
売上総利益	6,394,038	7,232,618
販売費及び一般管理費	5,274,824	5,833,424
営業利益	1,119,213	1,399,194
営業外収益		
受取利息	6,046	7,836
受取配当金	2,609	3,092
為替差益	-	90,967
受取手数料	30,789	13,767
補助金収入	-	26,548
その他	66,699	44,971
営業外収益合計	106,144	187,185
営業外費用		
支払利息	61,768	53,803
売上割引	24,804	27,584
為替差損	85,924	-
株式交付費	-	18,645
コミットメントフィー	4,276	3,530
その他	5,460	6,322
営業外費用合計	182,234	109,886
経常利益	1,043,123	1,476,492
特別利益		
為替換算調整勘定取崩益	7,129	-
特別利益合計	7,129	-
特別損失		
固定資産除却損	702	3,156
固定資産売却損	-	2,838
減損損失	2,481	666
特別損失合計	3,184	6,661
税金等調整前四半期純利益	1,047,069	1,469,831
法人税、住民税及び事業税	204,878	383,850
法人税等調整額	91,747	71,308
法人税等合計	296,625	455,159
四半期純利益	750,443	1,014,672
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,071	2,553
親会社株主に帰属する四半期純利益	748,372	1,012,118

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月21日 至 2020年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月21日 至 2021年10月20日)
四半期純利益	750,443	1,014,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,305	△10,990
繰延ヘッジ損益	△39,005	24,895
為替換算調整勘定	60,677	217,119
退職給付に係る調整額	2,800	62,772
その他の包括利益合計	44,777	293,797
四半期包括利益	795,221	1,308,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793,851	1,296,785
非支配株主に係る四半期包括利益	1,369	11,684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年10月6日を払込期日とする公募による新株式発行を行いました。その結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,059,618千円、資本剰余金が1,059,618千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,880,479千円、資本剰余金が2,921,633千円となっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

1. 第三者割当による新株式発行

当社は、2021年9月14日の取締役会において、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、2021年11月4日に払込が完了しております。

(1) 発行する株式の種類及び数：普通株式 388,300株

(2) 払込金額：1株につき 840.30円

(3) 払込金額の総額： 326,288千円

(4) 増加する資本金の額 163,144千円

(5) 増加する資本準備金の額 163,144千円

(6) 払込期日：2021年11月4日

(7) 割当先：大和証券株式会社

2. 今回調達資金の用途

今回の一般募集及び本件第三者割当増資による手取概算額合計2,419,525千円については、①設備投資資金、②投融资資金、③販促・広告費用、④借入金返済資金に充当する予定であります。